

実績報告書 記入要領

令和8年度やんばる奨学金に出願する者は、次の提出区分により、実績報告書を提出していただきます。②③の該当者は、記入要領、記入例を参照の上、作成、提出してください。
なお、実績報告書提出確認票は、出願者全員提出してください。

提出区分		摘要
①	入学者選抜出願時に提出した実績報告書を活用する出願者(再提出不要)	各入学者選抜の出願時に提出した実績報告書の内容に変更がない場合、該当します。再提出不要です。
②	入学者選抜出願時に提出した実績報告書の内容に更新がある出願者	受験した入学者選抜以降、やんばる奨学金出願基準に該当する活動実績を得たため、その実績を追加したい場合、該当します。 <u>追加する実績のみ記載し、それ以外の項目には「追加なし」と記載</u> し提出してください。
③	入学者選抜出願時に実績報告書の提出が必要なかった出願者	実績報告書を新規で作成し、提出してください。

<実績報告書記入要領>

実績報告書には、各項目に該当する高等学校在籍期間中(3年間)の活動実績を記入し、その**実績を客観的に確認できる資料(以下、「実績資料」という。)を添付することを原則とします。**

ただし、既卒者は、高等学校卒業後の活動実績も記入することができます。

なお、実績報告書に記入できる活動は、高等学校内の活動に限らず、学校外での活動も可としますが、高等学校長が認めていたものとします。

ア：実績報告書の各項目(「(1)学業及び特別活動等に関する実績」から「(5)文化、芸術、芸能等に関する実績」の5項目)に応じ、**一つの実績につき実績資料をA4サイズで5枚以内にまとめ(両面コピー可)、右上に資料番号(各項目に応じ「(1)-①」等と記入)を明示して、実績資料別に提出**してください。クリップ・ホチキス留めは不要です。

実績資料は次にあげる例を参考に用意し、その写しを添付してください。ただし、『(1)学業及び特別活動等に関する実績』において実績資料を添付できない場合は、高等学校長が作成する調査書の記入内容を評価の対象とします。

例：出場申込書、選手登録用紙、主催者発行の競技結果表、賞状、新聞記事、課題研究等の抄録、資格・検定等の認定証、所属団体発行の大会要項、その他実績が客観的に確認できるもの。

実績資料中、新聞記事については、**当該箇所を必ず赤色・太字で囲んで**ください。また、団体活動や団体競技における出場申込書や選手登録用紙等については、志願者本人部分を**赤色・太字で囲んで**ください。

イ：実績報告書の「(1)学業及び特別活動等に関する実績」における、「部活動」とは学校内の部活動のことを指します。「クラブ活動」及び「ボランティア活動」とは、学校内・学校外での活動のことを指します。ただし、学校外のクラブ活動、ボランティア活動については高等学校長が認めていたものとします。